

PRESS INFORMATION

ニュースリリース PGJPR24-043

メディア関係者 各位

2024年11月20日

ピアaggioグループジャパン株式会社

洗練されたテクノロジーと純粋なレーシングスタイルを継承したライトウェイトスポーツ
アプリリア RS 457 を発売

ピアaggioグループジャパン株式会社（本社：東京都港区芝2丁目、代表取締役 ネリ・ミクラウス）は、世界中の若いライダーにとって、技術的にもスタイル的にも新基準となる全く新しい本格ライトウェイトスポーツバイク『RS 457』を日本市場に導入し、全国のアプリリア正規販売店にて販売を開始いたします。

RSの称号をあたえられた生粋のレーシングラインを備えた扱いやすく軽量でパワフルなRS 457は、水冷DOHC 4バルブの平行ツインシリンダーエンジンと、アルミニウム合金製フレームにライド・バイ・ワイヤ、調整可能なトラクションコントロール、3つのライディングモードを備えたフル電子制御パッケージなどの洗練された装備を誇ります。また、アプリリアのMotoGPマシンであるRS-GPのグラフィックを彷彿とさせる、黒、赤、紫を巧みに組み合わせたカラーを採用し、さらに、フロントエンドを強く特徴づけるウイングレットのapriliaロゴや、フロントホイールリムの赤いストライプなど、GPマシンからインスピレーションを得たデザインも魅力です。



PRESS INFORMATION

■ アプリリア RS 457 商品概要

- メーカー希望小売価格 : ￥858,000 (消費税10%込)
- グラフィック : レーシングストライプ
- 出荷開始時期 : 2025年2月より順次



RS 457 は、アプリリアにとって技術的な面だけでなく、歴史的な一歩を踏み出すモデルです。実際、アプリリアのこの新しい2気筒のスポーツバイクは、乗りやすく、楽しく、技術的にもスタイル的にも画期的なバイクに対する世界的な需要の高まりに応え、新たなターゲットと市場にアピールしています。

アプリリアはRSの名前にはスポーティさを表しています。長きに渡り成功したレースの歴史から導き出された革新性は、アプリリアのユニークで驚くような設計がなされてきたバイク文化を形成してきました。こうして、アプリリアは並外れたバイクで若いライダーの情熱を満たし、**全世代の夢**となりました。

同時に、アプリリアはレース界で存在感を示した2ストロークカテゴリーでは優位に立ち、ワールドスーパーバイクでの勝利で技術的優位性を再確認した後、MotoGPでも頭角を現しました。

現在、アプリリアは新世代のモーターサイクリストのためのプロジェクトで創業当時の使命に立ち返り、世界中のサーキットで蓄積された知見を結集しています。

2020年から始まったアプリリアRS 660の成功は、ミドルレンジスポーツバイクの世界に革命をもたらし、新たなセグメントを生み出しました。

同じ成功の方程式が**アプリリアRS 457**でも反映され、このアプリリアRS 457はまったく新しいプロジェクトとして始まり、MotoGPマシンを含むすべてのアプリリアが製造されるノアーレ本社で考案、開発されました。この新しいアプリリアは、125ccエンジン搭載モデルとRS 660の間を繋ぎ、パワフルなV4スーパーバイクRSV4や、最も技術的に進歩しMotoGPで優勝を収めたRS-GPを含むRSファミリーが完成します。

アプリリアRS 457は、若いライダーやフェアリング付きのスポーツバイクに乗り始めたい人の声に耳を傾け、アプリリアが持つ技術や経験をすべて駆使し、真のスポーツバイクの設計、製造に反映させています。

このバイクの強みは、A2ライセンス※で乗れるバイクとしては可能な限り軽量でパワーウェイトレシオに優れ、扱いやすく、そして多くの**最新テクノロジー**を装備している点です。RS 457は、ライダーが路上やサーキットでの上達に伴走するような設計がなされています。実際に人間工学に基づき、クリップオンハンドルバーは、トップ

PRESS INFORMATION

ブリッジよりも上部に取り付けられており、スポーティさと快適性のバランスを最適化したロードスポーツバイクに仕上げています。

※A2 ライセンス:EU 加盟国の二輪運転免許区分で、最高出力が 35kW(47.6 馬力)以下であれば排気量の制限無く運転が可能。

● 機能から生まれた明確なスタイル

新型 RS 457 のスタイリングは、バイクの歴史を築いたスーパースポーツバイクである**伝統の RS シリーズ**を踏襲しており、特に空力的な機能を有し、未来的な形状の**ダブルフロントフェアリング**を 2020 年に初めて導入した RS 660 が切り開いた革新的な道をたどっています。

その結果、アプリリアのスタイルを特徴付けるウィンカーを内蔵したトリプルフル LED ヘッドライトユニットから始まるスリム化されたフロントエンドが、**軽快でダイナミック**な印象を与えるバイクが誕生しました。

そして、まさにそのヘッドライトユニットの中心から、数多くの**風洞実験**と CFD シミュレーションを通じて導入された MotoGP プロトタイプマシンを彷彿とさせる 2 つのエアロエレメントを経て、ダブルフェアリングへと通じています。実際、小型エンジンのバイクでは、空気力学が重要な役割を果たしており、車体のコンパクトさを高めるために、なだらかな表面を採用すると同時に、効率的な形状を実現する必要があります。RS 457 の**ダブルウォールフェアリング**には、スリット状のスプリットと、フレームに接続する特殊なスポイラーを採用し、走行風圧とエンジンやラジエーターからの熱気を逸らし、ライダーの快適性を高めます。

ライディングポジションは、**ステアリングトップブリッジ**の上に取り付けられた**セパレートハンドルバー**と、低めにセットされたステップにより、**スポーティなポジション**でありながら**街乗りでの快適性**を完璧にバランスさせています。燃料タンクの形状もライダーの胸部とヘルメットにフィットするようにデザインされており、バイクとの完璧な一体感に貢献しています。そのため、いかなる身長ライダーであっても、最大限のコントロール性とリラックスしたポジションを提供します。

RS 457 の**スポーティでダイナミックなボディライン**は、2 in 1 エキゾーストの取り回しにも大きく影響しており、エンジン下部のサイレンサーはアンダーカウルと一体化しているかの様に美しく収められています。これによりバイク後部のデザインに自由度が増し、リアステップブラケットの位置を適切に配置できるようになりました。

わずか 800 mm の低いシートは、地面にしっかりと足がつくように細い形状となっています。洗練されたテールフェアリングには LED リアライトユニットが組み込まれ、側面の 2 つのウイングレット形状のグラブハンドルが特徴的です。広いパッセンジャーシートは、アクセサリ(別売り)のシングルシートカウルに交換が可能です。



オプション設定のシングルシートカウル

PRESS INFORMATION

● ツインシリンダーエンジンによるパフォーマンスと軽量化の完璧な組み合わせ

アプリリア RS 457 は、新しい超近代的なツインシリンダー エンジンを軸に構築されており、その排気量である 457cc が、このプロジェクトにおける中心的な役割の証として、新しいイタリアンスポーツバイクの名前にその数字が与えられています。

この新しいパワーユニットは、水冷 DOHC 4バルブ並列 2 気筒エンジンで、9,400 rpm で最高出力 35 kW (47.6 HP) に達します。これは A2 ライセンス※で運転できる最高出力の上限です。また、6,700 rpm で 43.5 Nm のトルクを発生し、3,000 rpm で既に最大トルクの 82%を発生させます。

この最新世代のパワーユニットはコンパクトかつ軽量で、アプリリアの設計者にとって最優先目標である、非常に優れたパワーウェイトレシオの達成にも貢献しています。実際、バイクの乾燥重量は 159 kg で、フルード類や 90%の燃料を搭載した際の車両重量を 175 kg に抑える事に成功しました。

RS 660 と同様に、エンジン設計時のレイアウトは、軽量かつコンパクトな寸法を最適化するために選択され、シャーシ設計の面で大きな自由度が与えられます。エンジン後部にはスイングアームピボット機能も備えており、コンパクト化と車体全体の軽量化に貢献しています。

このアプリリアの新しいツインシリンダーユニットは、RSV4 に搭載されたパワフルな 1100 cc V4 エンジン、そして RS、Tuono、Tuareg の 660 シリーズ全体に搭載された 659 cc ツインシリンダー ユニットから得られたすべてのノウハウを活用して新たに設計されています。アプリリアのエンジニアは、確固たる技術基盤を基に、体積の最適化、冷却水のバイパス回路と、ブローバイの回路をエンジンに完全に統合し、エンジンの外部からホース類を極力見えなくすることに取り組みました。クランクケースは水平方向に 2 つに分割されており、さらに容積が削減され、より堅牢な構造が実現しています。

内部摩擦を最小限に抑えるために、さまざまなソリューションが採用されました。シリンダーはクランクシャフトに対して 6.5 mm オフセットされており、ピストンによる押し込み摩擦を軽減します。カウンターシャフトとウォーターポンプにはメタルブッシュではなくニードルベアリングを採用し、ピストンピンには DLC (ダイヤモンド・ライク・カーボン) コーティング処理が施されています。ギアボックスはシンクロギアのシャフトにもブッシュではなく、アプリリア V4 エンジンと同じローラーベアリングを使用し、さらにギアボックスのフォーク アクスルには、特許取得済みの統合された潤滑システムを採用しています。

サイドカムチェーン駆動によって制御されるカムシャフトは中空で、バケットタペットを使用してバルブ駆動時の慣性を低減しています。湿式多板クラッチはアシスト機能付きで、スリッパシステムも備えています。

エンジンのレスポンスは、ライド・バイ・ワイヤ電子制御マルチマップスロットルによる、3 つのライディングモードからを選択が可能です。



PRESS INFORMATION

- **最先端のシャーシ構造により、扱いやすく楽しい、印象的なライディングを実現**

アプリリアの卓越したフレーム製造のノウハウは、新しいアプリリア RS 457 にも反映されています。アプリリアのエンジニアによる洗練されたシャーシ設計の職人技は、何年にもわたって活躍した WGP の 125 cc / 250 cc 2 ストロークエンジンユニット時代から脈々と引き継がれています。新しい RS 457 は、この貴重なノウハウの蓄積の恩恵を受けており、このセグメントで**唯一アルミニウム製フレーム**を採用しています。

剛性と重量の最適なバランスを実現するために、数多くの実走行によるテストセッションと並行して、コンピュータ支援エンジニアリング (CAE) による開発を通じてフレームの形状が最適化されています。その結果、可能な限り軽量化に特化したレイアウトが生まれ、ダイナミックなパフォーマンスと、すべてのアプリリアが持つ高い旋回性能を生むフロントエンドのフィーリングを実現します。フレームは、左右で縦に分割されたアルミニウム製スパーで構成され、ボルトで固定されます。エンジンは RS 660 ですすでに採用されている、スイングアームピボットの軸受け要素としての機能も有しており、スチール製のスイングアームがエンジンブロックに直接取り付けられています。この構造により、**コンパクトで軽量、高剛性**な車体設計に貢献しています。

フレームと連動して高い性能を発揮するサスペンションは、あらゆる状況で最大限の楽しさとコントロール性を実現する調整機能を備え、経験の浅いライダーにも最高のライディングプレジャーを提供します。フロントには、**プリロード調整機能付き** $\phi 41$ mm 倒立フォークサスペンションを採用し、**リアも同様にプリロード調整機能付きモノショック**を採用。トラベル量はフロント 120mm、リアは 130 mm を確保しています。

ブレーキシステムは、フロントに $\phi 320$ mm ディスクと ByBre 製ラジアルマウント 4 ピストンキャリパーの組み合わせで、調整可能なブレーキレバーを採用し、常に最適な操作性を提供します。リアには $\phi 220$ mm ディスクと ByBre 製キャリパーが装着されています。**2つのマップを備えた Bosch 製 2 チャンネル ABS システム**が、両輪 (モードによりフロントのみ) の安全なブレーキングをサポートします。

フロントに 110/70、リアに 150/60 サイズのタイヤが**スポーティな 17 インチのホイール**に装着され、新型アプリリアの真の強みである機敏性を犠牲にすることなく、優れたグリップを実現する完璧なサイズ設定です。



PRESS INFORMATION

● 真のスポーツバイクにふさわしい完成された電子制御デバイス

アプリリア RS 457 の電子制御デバイスは、幅広いライダー向けに設計され、アプリリア伝統の真のスポーツバイクに忠実な仕上がりになっています。ライド・バイ・ワイヤ・システムは、量産モデルとしてはアプリリアが世界に先駆けて Shiver 750 に導入しました。パワーやトルク伝達とトラクションコントロールを介入する、3種のライディングモードでエンジンを制御し、トラクションコントロールは3段階に調整することが可能で、無効にもできます。希望のライディングモードの選択操作は、ハンドルスイッチの専用ボタンを押すだけで、ライディング中でもアドレナリンが湧き出る様な最適なエンジン出力設定とトラクションコントロールの調整が可能です。

3つのライディングモード:

ECO モード: エンジン出力は穏やかな設定で、トラクションコントロールの介入レベルは中程度(レベル 2)です。

SPORT モード: より応答性が高くダイナミックなエンジン出力設定と、トラクションコントロールの介入レベルは低く(レベル 1)、スポーツライディングに最適なモードです。

RAIN モード: グリップレベルの低い路面や、濡れたアスファルトでの状況を想定したライディングモード。エンジン出力設定は非常に穏やかで、加速時の安全性を高めるためにトラクションコントロールの介入レベルは最大(レベル 3)に設定されています。

アプリリア・トラクション・コントロール (ATC) は、選択したライディングモードに関係なく、左側のハンドルスイッチの UP ボタンと DOWN ボタンを使用して、走行中でも常に調整可能です。

RS 457 の豊富な専用アクセサリには、**AQS: アプリリア クイック シフト**も含まれており、スロットルを閉じたりクラッチレバーを握ったりすることなく、非常に高速なギアチェンジを可能にする電子制御システムで、シフトダウンにも有効です。

アプリリア RS 457 は、そのデザインとパフォーマンスだけでなく、夜間の視認性を向上するバックライト付きハンドルバースイッチや、5 インチの TFT カラーディスプレイを備え、極めて先進的なインストルメントシステムを採用しています。メーターにはインパクトのあるグラフィックが表示され、中央にはスピードメーターと、スポーティなタコメーターの目盛りが配置されています。

スマートフォンとバイクを接続して、豊富なメーターの機能をさらに拡張する Aprilia のマルチメディアプラットフォーム (Aprilia MIA システム) が、アクセサリ(別売り)として設定されています。このシステムは、スマートフォンのバッテリー消費を最小限に抑え、直感的なハンドルバースイッチを通じて音声アシスタント、通話、音楽再生を管理するインフォテインメントシステムを備えています。

PRESS INFORMATION

■ アプリリア RS 457 主要諸元

エンジン形式	4 ストローク 水冷 並列 2 気筒 DOHC 4 バルブ
総排気量	457 cc
ボア × ストローク	69 mm × 61.1 mm
最高出力	47.6 HP (35 kW) / 9,400rpm
最大トルク	43.5Nm/ 6,700rpm
燃料供給方式	電子制御燃料噴射システム Φ36 mm ツインスロットルボディ ライド・バイ・ワイヤ アクセルマネージメントシステム
潤滑方式	ウェットサンプ
始動方式	セルフ式
トランスミッション	6 速リターン (アプリリアクイックシフト UP/DOWN をオプション設定)
クラッチ	アシスト及びスリッパシステム付き湿式多板クラッチ
フレーム	ダブルスパー アルミニウム製フレーム
サスペンション(F)	Φ41 mm テレスコピック倒立フォーク スプリングプリロードアジャスタブル ホイールトラベル 120mm
サスペンション(R)	スチール製スイングアーム モノショックアブソーバー スプリングプリロード調整式 ホイールトラベル 130mm
ブレーキ(F)	320 mm 径 ディスク、ByBre 製ラジアルマウント 32 mm 4 ピストンキャリパー
ブレーキ(R)	220 mm 径 ディスク ByBre 製 1 ピストンキャリパー
全長 / 全幅	1,982.5 mm / 760 mm
シート高	800 mm
ホイールベース	1,350 mm
タイヤ(F)	110/70 ZR 17 アルミ製ホイール 3.0" × 17"
タイヤ(R)	150/60 ZR 17 アルミ製ホイール 4.5" × 17"
重量	装備重量 175 kg (燃料 90%搭載時)、乾燥重量 159Kg
燃料タンク容量	13 L
生産国	インド

◇RS 457 ページ:

https://www.aprilia.com/jp_JA/models/rs-457/



PRESS INFORMATION

◇お客様お問い合わせ先:

ピアaggioコール 03-3453-3903

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアaggioグループジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868